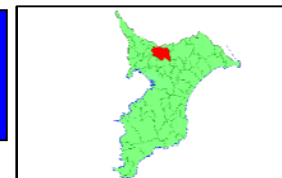


印西市地域公共交通活性化協議会

平成22年3月4日設置



概 要

民間バス路線の利用者数減少や、成田スカイアクセス開業に伴う公共交通の変化、また市村合併に伴う、新市域における公共交通のあり方を検討するため、地域特性の整理や既存公共交通の現状把握、バス利用者、地域住民等が求める交通サービスの形態、水準、需要等の把握、市の公共交通の将来像や提供すべきサービス水準、地域公共交通の充実・整備の具体的な施策の検討を行う。

○地域公共交通の現況

- ・市内の交通不便地域等への対策として、旧印西市域において、コミュニティバス（ふれあいバス）が4ルート運行されている。
- ・民間バス路線は、市内の5つの鉄道駅を起点として合計8路線が運行されている。
- ・市内バス路線の利用者は減少傾向を示しており、平成21年において2路線が廃止された。また、旧印旛村・旧本埜村地区においてはコミュニティバスが廃止された経緯がある。

○地域公共交通の課題

- ・バス等を中心とした市内の地域公共交通の充実
- ・市内の広域的交通ネットワークの構築

○調査の主な内容

- ①バス利用者ヒアリング調査
 - ②住民等を対象とした需要・課題調査
- ・住民アンケート（約3,000人対象送付）を行い、地域公共交通に関する需要・課題を把握する。その際、未利用者や交通弱者等のニーズ、公共施設、商業施設への移動需要などの把握に留意するとともに、必要に応じて、ヒアリング調査等を実施する。

○地域公共交通総合連携計画の策定

- ・市の現況と課題を踏まえ、当調査事業により地域の現状と交通需要を把握し、バス等を中心とした地域公共交通の維持・活性化と充実・整備に向けた基本方針等について検討し、印西市地域公共交通総合連携計画を策定する。

